



加古川市消防本部
消防長 田淵 秀樹 さん

クローズアップ

知れば安心！ もしもの時に、正しい119番通報を！

師走に入り、暖房や火を使う機会も増え、空気も乾燥していますので、普段以上に火気の取り扱いには注意が必要です。

4月に加古川市消防長に就任された田淵秀樹さんに防火や加古川市消防本部の119番通報の取り組みについてお話をお伺いしました。

火災件数は減少傾向ですが、救急出動件数は・・・

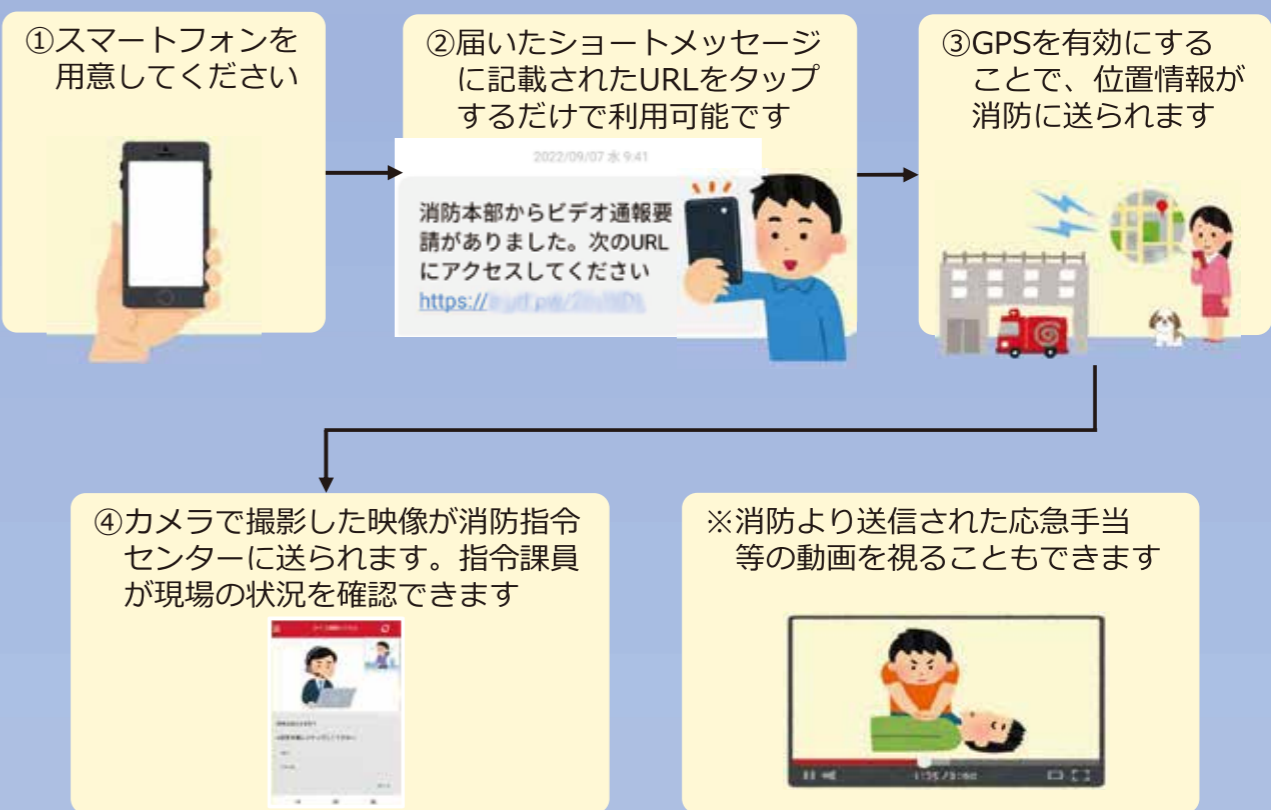
加古川市消防本部管内（加古川市・稲美町・播磨町）の火災件数は、平成21年の213件をピークに減少し、近年は90件前後で推移しています。特に放火による火災は、平成29年の33件から以降は急激に減少し、令和5年は8件となっています。

大きな要因として、加古川市では『見守りカメラ設置事業』が平成29年

2024年5月1日
運用開始

かこがわ映像119

◇ かこがわ映像119とは？
通報者がスマートフォンを利用し、火災や救急現場の映像を消防指令センターに送信できます。救急車が到着するまでの間、消防指令センターから応急手当の映像を通報者に送信できます。



- ・事前の登録、設定の必要はありません。
- ・119番通報時に火災、交通事故、重症な患者など、通報内容から指令員が必要と判断した際に、通報者の同意を得た上で利用を案内します。
- ・映像通報に送信された映像は、指令員の現場判断、救急隊や消防隊等との情報共有のためのみに使用します。
- ・映像通報にかかるパケット通信料(URLへのアクセス及び動画送信等)は通報者の負担となりますのでご了承ください。



かこがわ映像119について
(加古川市 HP)

加古川市消防本部指令課 TEL:079-424-0119

度より進められ、犯罪発生数（刑法犯認知件数）も設置前と比べると約4割減と大きく減少しています。令和6年度には稲美・播磨町にも整備が進む予定で、更なる効果が期待されています。一方、令和5年中の救急出動件数は過去最多の19,708件を記録しています。今後も高齢社会の進展に伴い、ますます救急需要は増加するなかで、救急隊の現場到着時間や病院収容時間の延伸が懸念されています。救急車の台数には限りがあり、不要不急の119番通報をなくし、本当に必要な人が使えるようにご協力をお願いします。

スマホから映像を送受信！

「かこがわ映像119」

令和6年5月1日より、スマートフォンからの119番通報で、音声による通報に加え映像を送信することができるシステム「かこがわ映像119」が始まっています。

言葉では説明しづらい現場の状況を映像でリアルタイムに伝えることができ、位置情報もGPSで取得することができます。また、救急事案においては、

必要に応じて心肺蘇生法など応急手当の動画を消防指令センターから通報者へ送信することもできます。

日頃の備えが肝心です

今年の8月には気象庁から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の発表があり、不安になった方も多々と思います。火災だけでなく様々な「もしも・・・」に備えて、普段から何ができるのかを考え、自らの命、大切な人の命を守るために、準備しておきましょう。また、事業所においても、不測の事態を想定した「事業継続計画（BCP）」の策定も重要だと考えます。

加古川市では、災害時の様々な情報をひとつのサイトに集約した「加古川市防災ポータル」を開設し、平時から災害時においても情報を発信していますので、ぜひ活用下さい！